

* タブレット充電器の用意のお願い * 札幌市立幌東小学校

学校で学習のために使用しているタブレット端末（Chromebook）は、今後、学級閉鎖などの措置が取られた場合、家に持ち帰ることになります。その際にタブレットを充電できるケーブル等をご家庭で用意していただくことになります。

継続してタブレットを活用するためには、「Type-C ケーブル」と「充電器」が必要です。スマートフォン（android 系）やポータブルゲーム機などの充電器にも同じ形式が使われています。ただし、物によっては低速充電になります。様々なものに使われている形式なので、ご家庭で同じ Type-C ケーブルが使われているものがないか確認していただき、無い場合は下記を参照して用意をお願いします。

なお、1 回のフル充電で1～2日程度であれば継続して使うことができます。



【Type-C ケーブル】



この部分をタブレットの画面に向かって左側（イヤホンジャックの挿し口がある方）に挿します。

左の写真のような平らで丸い形をした挿口をしています。写真のものは 100 円ショップで売られているものです。これとは別に USB 接続できる充電器が必要です。

スマートフォンの充電器などの Type-C ケーブルの先がコンセントに差し込んで充電できるものは、そのまま使用することができます。



【充電器】



左側が iPhone に付いてくる充電器、右側が市販されている充電器です。どちらでも充電が可能です。ただし、このサイズのものだとアンペア数が小さいので低速充電になります。

USB 接続できる充電器も 100 円ショップなどで売られています。また、iPhone の充電器も USB 接続の充電器なので、こちらを使うこともできます。

充電器によっては低速充電となり、充電に時間がかかってしまうのと、使いながら充電することができません。アンペア数の大きなものほど充電が速くなります。

Chromebook は、30W以上の出力を推奨しています。スマートフォンのアダプタは 5W程度、タブレットのアダプタは 12W 程度です。

充電器を新規購入する場合は、「18W」以上の「PD 規格 (Power Delivery～パワーデリバリー)」の物をお勧めします。

タブレット用のタッチペンについて



タブレットにはタッチパネルが搭載されており、指で操作することが可能です。子どもたちが学習で使用している「ドリルパーク」では、タッチパネルを使用しての漢字練習や漢字の問題を行うことができます。その際、子どもたちは指で書いていたのですが、どうしても書きづらいという声がありました。

そこで、タッチペンをご家庭で用意していただき、学校で使用してもよいこととしたいと思います。学校では鉛筆などと同じように筆箱に入れて管理します。お子さんと相談していただき、必要だという場合は購入して持たせてください。全員が用意する必要はありません。

なお、タッチペンは 100 円ショップで売られているもので十分使えます。学校に持ってくる際は記名も忘れずをお願いします。